

I. 総合人間科中学の実践報告

中1	川 合 勇 治・湯 澤 秀 文 鈴 木 克 彦・佐 藤 喜世 恵
中2	今 村 敦 司・三小 田 博 昭 高 須 明・山 岸 郁 子 中 中 村 明 彦・原 順 英 川 川 田 基 生・原 俊

1. 中学1年

生き方を探る

—新たな出会いから学ぶ—

川 合 勇 治・湯 澤 秀 文
鈴 木 克 彦・佐 藤 喜世 恵

I. 学年テーマについて

広い地域から生徒が通う本校へ入学した1年生は、そのほとんどが初対面の人たちと共同生活をスタートさせる。新しいクラスメートや、先輩、先生などさまざまな人と出会い、自分の世界を広げていくことになる。そこで、中学1年生での総合人間科は、「新たな出会いから学ぶ」と題し、いろいろな人たちと出会う機会を意図的に設定し、インタビュー活動を中心に行うこととした。相手の生き方や考え方を理解し、自分のあり方を考える手だてとして役立たせたいと考えたためである。さらに、インタビューのみでなく、そのまとめ方や発表の仕方にも力点を置き、子供たちが生き生きと活動できるように配慮した。

1年の活動を通して、生徒たちが多くの人々の生き方や価値観を認識し尊重した上で、自らの生き方を考え、これからの人生を自覚的に選択していく力を養うことを目的とした。

II. 学習の内容

学習活動は、インタビューが中心であり、先方への依頼状の作成や質問内容の検討などの事前準備や事後のまとめの礼状書き、発表などの作業は、基本的には個人で行った。インタビューは、できるだけその人のものの考え方や価値観、生き方に触れられる質問を考え、それらを系統立てて各自で工夫を凝らしたものにした。インタビューのまとめ方とその発表の仕方については、可能な限り生徒の独創性を生かし、いろいろな発表形式で行った。また、発表

会では発表評価用紙を使って、生徒間の相互評価を行った。インタビューは、さまざまな年代の人を対象に、年間を通して5回行うことができた。

III. 指導の経過

1. 1学期の実践

「本校の生徒との触れ合いから学ぶ」

1学期の総合人間科では、附属中学で出会ったクラスメートや先輩を相手にインタビューを行った。インタビューは1対1で3回行い、その経験を通して事前の計画づくりや事後のまとめ方などを学習することができた。

・4月16日 “となりの席の子に聞いてみよう！”

初対面のとなりの座席の子に、その子の良いところや魅力を引き出すインタビューを行い、その内容をまとめた。

・4月8日 “となりの子をみんなに紹介しよう！”

前回のインタビューのまとめを使って、クラスのみんなに分かりやすく、となりの座席の子を紹介した。(保護者参観の発表会)

・5月16日 “先輩に聞いてみよう！” ①

中学3年生の先輩にインタビューを行うために、依頼状書きや質問内容の検討などの準備を行った。

・5月30日 中学3年生の先輩に、1対1でインタビューを行った。質問は、相手の価値観やものの考え方が分かる内容を考え、同性の先輩を対象に話を聞いた。

・6月20日 “先輩に聞いてみよう！” ②

高校3年生の先輩にインタビューを行うために、依頼状書きや質問内容の検討など準備を行った。

- ・7月4日高校3年生の先輩に、1対1でインタビューを行った。質問の内容は、中学3年生に聞いたことがらと、進路に関するものが多かった。

2. 2学期の実践

「友だちのお父さんお母さんに突撃インタビュー！」

2学期は、まず1学期のインタビューのまとめとその発表を行い、次は、校外に出て大人の人を対象にインタビューを行った。より身近な存在という意味で、友だちのお父さんお母さんにインタビューに答えて頂いた。ペアーを決め、相手の保護者にそれぞれインタビューするという方法で行った。

- ・9月5日1学期のインタビューのまとめ
1学期に行った3回のインタビュー結果のまとめを行い、発表会に向けての準備をした。インタビューのまとめは、中学1年生、3年生、そして高校3年生のそれぞれの考え方や価値観などについて比較をし、それに対する自分の考えや意見を明確にするようにした。
- ・9月19日発表の準備
発表方法を各自で工夫し、OHPのシートづくりやB紙書き、さらに、発表原稿書きなどの準備を行った。
- ・10月3日各クラスで発表会を行い、発表に対して評価用紙を使って生徒間の相互評価を行った。
- ・10月31日“友だちの父さん母さんに聞いてみよう”保護者にインタビューを行うための準備として、ペアーの決定、インタビューの計画づくり、依頼の手紙書きなどの作業を行った。
- ・11月7日友だち（ペアー）の家を訪問し、保護者にインタビューを実施した。インタビュー後には、保護者の方にインタビューの評価をして、評価用紙に記入していただいた。
- ・11月21日友人の父母に行ったインタビューのまとめや礼状書きを行った。また、発表会の準備としてOHCシートや発表原稿を作成した。
- ・12月5日インタビューした友だちの父母をみんなに紹介するかたちでクラスごとに発表会を行い、発表に対する生徒評価も実施した。

3. 3学期の実践

「社会で働く人たちにインタビュー！」

3学期の総合人間科は、生徒の興味や関心のある職業に就いている大人の人に出会い、その仕事に関するを中心にインタビューしてまとめ発表した。今回のインタビューは、2人組で行った。

- ・1月16日インタビューのペアーを決め、対象とする人を検討した。次回の授業までにインタビューの相手を決定し、先方に許可をとっておくことにした。
- ・1月30日依頼状書きや、インタビューの計画づくりなどの作業をした。質問の内容は、相手の生き方や考え方に関するものに加え、現在の職業や仕事にかかわることがらについても話が聞けるようにした。
- ・2月6日先方の自宅または職場に伺い、インタビューを行った。インタビューの後評価用紙に記入して頂いた。
- ・2月20日インタビュー結果のまとめと発表の基準礼状書きなどの作業を行った。
- ・3月6日クラス別に発表会を行い、発表に対する生徒評価を行った。

IV. まとめ

「新たな出会いから生き方を探る」というテーマで展開したこの総合人間科の授業は、過去3年間の実践研究の成果に負うところが大きかった。活動の中心をインタビューという人との接し方や情報の収集（聞き取り）などの学習に置いたスタイルも昨年の実践を継続したものであった。力点は、この科目がスタートした時から子供たちが様々な人々とのコミュニケーション能力を高めることにあり、また、主体的な活動を保障できるように努めてきた。この1年間、子供たちが生き生きと活動できたのは、担当した教師自身がこの授業の面白さを実感していたからであろう。